

日米会会長挨拶

日米会員の皆様、11月も過ぎ師走を迎え何かと御忙しくされている今日この頃だとお察ししております。「光陰矢の如し」月日の経つのは本当に早いものです。特に年老いてきますとそれがひしひしと感じられます。

皆様のご協力によりまして一年間の会長職も無事終わろうとしています。11月の総会で来年もう一年会長を務めることとなりましたので今まで以上に皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。

皆様にはお体を大切に良きクリスマス・新年をお迎えください。

北加日米会会長 西沢ジョン

第44回 日本語弁論大会

北加日米会、北加日本語教師会、在サンフランシスコ日本国総領事館主催による第44回日本語弁論大会が2017年11月5日(日)にNew People Cinema (1746 Post Street, San Francisco, CA 94115)で開催されました。ニュー・ピープルで開催する弁論大会は、本年で3年目となり、すべて予定通りスムーズに運びました。今年度も午前は「中高校生の部」の弁論大会、午後は「大学生・成人の部」という構成で、参加者数は昨年より8名の増加となりました。午前の部が12校から19名、午後の部が14名と計33名の参加者が日本語学習に対する意欲、日本語や日本の文化を通じて学んだこと、日本を訪れた経験から感じた日米の文化的相違、政治、さらには個人的内省など、多岐にわたるトピックを題材に日頃の日本語学習の成果を披露しました。

中高生の部(午前)では、北加日米会の西沢征義会長が開会のご挨拶をされました。午前の部の審査委員長は在サンフランシスコ日本国総領事館の永吉昭一首席領事に、そして審査員はサンフランシスコ大学のスティーブン・ロディ現代古典言語学部教授、早稲田大学サンフランシスコ・オフィスの會沢洋一所長、ニュー・ピープルの土肥健路総務部長、北加日系文化コミュニティセンターの稲生朱(いのうあや)さんにお務めいただきました。

また、大学・成人の部(午後)の開会のご挨拶は、在サンフランシスコ日本国総領事館、山田淳総領事にお願ひしました。午前の部と同様に大学・成人の部の参加者数も昨年と比較すると大幅に増加しました。しかも、誰も原稿を読むことなく暗記しており、例年以上に白熱したスピーチで競い合い盛況でした。午後の部の審査委員長は、山田総領事、審査員は北加日本商工会議所の富田裕司会頭、サンフランシスコ日本語補習校の大野芳之教頭、北加ジャパン・ソサエティのローレンス・グリーンウッド会長、JETプログラム・アラムナイの広井亜里沙さんにお務めいただきました。



先に述べた中高生の部の19名ですが、①「家庭で日本語を日常話さない(日本語を理解する人が家庭にいない)」参加者16名、②「家庭で日本語を日常話す(日本語を理解する人がいる、もしくは日本語を話す人が家庭にいる)」参加者3名の2グループに分け、それぞれのグループごとに審査を行いました。

①「家庭で日本語を日常話さない」生徒の部の優勝者はジュミ・ユンさん(Mission San Jose High School)で、スピーチ・タイトルは「ダイエットの意味(The Meaning of Dieting)」でした。第2位はニシャラ・ビーラムさん(Monta Vista High School)の「今、日本語を勉強しているきっかけ(Why I'm Learning Japanese Now)」,そして第3位はアイリーン・ハさん(Palo Alto High School)の「家族のぬくもり(The Warmth of Family)」でした。

②「家庭で日本語を日常話す」生徒の部の優勝者は林創太さん(Sakura Gakuen)で、スピーチ・タイトルは「ナイキへの情熱(My Passion for Nike)」でした。第2位は除村梨沙さん(San Mateo Nippon Gakuyen)の「人間の弱さ(Human Weakness)」,そして第3位はスタイナー海さん(San Mateo Nippon Gakuyen)の「私の父と猫(My Father and Cat)」でした。

大学・成人の部の優勝者はタンクト・デグフェイさん(Middlebury Institute of International Studies)で、スピーチ・タイトルは「百聞は一見にしかず(Japan Through the Eyes and the Heart)」でした。第2位はロジャー・ルオさん(University of California, Berkeley)の「日本がくれたもの(What Japan Has Given Me)」,そして第3位はエレン・ゾンさん(Middlebury Institute of International Studies)の「『日本が好き』と言い出せなかった理由(Why I Could Not Say "I like Japan")」でした。

午前の中高生の部、午後の大学・成人の部、ともに優勝から3位までの入賞者には北加日米会からトロフィーを、中学・高校生の部の各カテゴリー優勝者には、スポンサーであるカプコンUSA社からベストセラー・ゲームの関連賞品が副賞として贈られるなど、抱えきれないほどたくさんの豪華な景品が贈呈されました。参加者全員にも参加賞として景品が授与されました。

また、大学・成人の部では、優勝者に北加日米会からとても大きなトロフィーとユナイテッド航空よりサンフランシスコ・東京間の往復航空券が贈呈されました。第2位には北加日米会から\$300の小切手、そして第3位にも北加日米会から\$200の小切手が贈呈されました。さらに、参加者全員にも参加賞が授与されました。



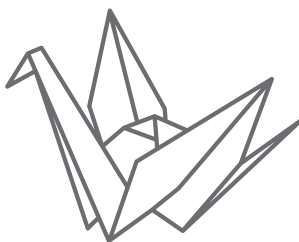
中高生の部 集合写真
(Category 1: Japanese not spoken at home) Division Contest
(Photos courtesy of Jeremy Santiago)

最後に、富田会頭に講評をお願いしました。審査委員の方々からは日本語のレベルの高さのみならず、個人の意見をしっかりと述べている点がとりわけ印象的であったとの講評と共に、今後も日本語や日本文化に興味を持ち続けて欲しいとの激励の言葉が贈られました。会場にはご家族や友人、教師等多くの方々に応援に駆けつけ、アットホームな雰囲気の中にも熱気あふれた弁論大会を実施することが出来ました。昨年の弁論大会から北加日本語教師会 (NCJTA) にも共催団体として加わっていただきましたが、今後は日本語教育に携わっていらっしゃる先生、継承言語としての日本語に興味をお持ちの皆さんにさらに積極的に働きかけ、いっそう大勢の日本語学習者にふるって参加していただけるよう、ますます魅力的な日本語弁論大会にしていきたいと考えています。数多くの企業、団体、個人の方々に協賛していただき、副賞などをご提供いただきましたこと、皆様のご協力、ご厚情に感謝いたします。

(南 雅彦 第44回日本語弁論大会委員長)

<協賛>

ユナイテッド航空、ニュー・ピープル、カプコン、国際交流基金ロサンゼルス日本文化センター、北加日本商工会議所 (JCCNC)、加州日本語教師会 (CAJLT)、米国紀伊国屋書店、北カリフォルニア外国語教会 (FLANC)、パソナ、日通旅行USA、キックマン・セールスUSA, Inc.、金門学園、オング・アンド・キムラ、カリフォルニア・バンク・アンド・トラスト、山昌、勉強堂



中高生の部門(午前)

家庭で日本語を話さない生徒の部

- 第1位 ジュミ・ユン「ダイエットの意味」
- 第2位 ニシャラ・ビーラム
「今、日本語を勉強しているきっかけ」
- 第3位 アイリーン・ハ「家族のぬくもり」

家庭で日本語を話す生徒の部

- 第1位 林 創太「ナイキへの情熱」
- 第2位 除村 梨沙「人間の弱さ」
- 第3位 スタイナー 海「私の父と猫」

福田きら
カイチャー・ゲー
ユーチェン・ホアン
リディア・ジアン
ハオニング・ジャング
チエイン・ドリス・リイ
クリスチャン・リゾ・ロレット
中泉しゅん
イザベル・プウクス
シエラ・リン・ローズ
ジェニファー・サン
サラ・ハナ・ウー
ジョイス・ユン

大学・成人の部(午後)

- 第1位 タングト・デグフェイ「百聞は一見にしかず」
- 第2位 ロジャー・ルオ「日本がくれたもの」
- 第3位 エレン・ゾン
「『日本が好き』と言い出せなかった理由」

ブレア・大和・ウィリアムズ
ジ・ディン
五十嵐 香南
ジン・チェン
ケニー・メカード
フランク・モンデリ
クローイ・テン
ジャズン・ヤップ
マーガレット・フリワルド
スコット・スティーブンズ
パトリシア・アルマ

44rd Annual Japanese Speech Contest

On Sunday, November 5, 2017, the Consulate General of Japan in San Francisco, the Northern California Japanese Teachers' Association (NCJTA), and the Japanese American Association of Northern California (JAANC: Hokka Nichibei Kai) held the 44th Annual Japanese Speech Contest at the New People Cinema located in the heart of San Francisco's historic Japantown.

The primary objective of this contest is to encourage the learning and use of the Japanese language in the San Francisco Bay Area community, particularly among non-native speakers of Japanese. Consisting of (1) the Middle and High School Student Division and (2) the College Student and Adult Division, the speech contest represents a fun and challenging way for students at all levels to demonstrate their language and communications skills.

A total of 33 contestants — 19 in the Middle and High School Student Division and 14 in the College Student and Adult Division — participated in the speech contest and demonstrated their advanced Japanese speaking skills in various topics — ranging from personal experiences and learning Japanese to the cultural differences between the United States and Japan — before a panel of judges and an encouraging audience of friends, families, teachers, and fellow students. The contestants shared their stories in their own words, and we learned about their experiences with Japan and the Japanese language, and found out what motivated them.

The Middle and High School Student Division contest was further divided into two groups, Category 1 for Japanese not spoken at home, and Category 2 for Japanese spoken at home. The Category 1 winner was Ms. Jumi Yoon (Mission San Jose High School: "The Meaning of Dieting"), the first runner-up was Ms. Nishchala Beeram (Monta Vista High School: "Why I'm Learning Japanese Now"), and the second runner-up was Ms. Eileen Ha (Palo Alto High School: "The Warmth of Family"). The Category 2 winner was Mr. Sota Hayashi (Sakura Gakuen: "My Passion for Nike"), the first runner-up was Ms. Lisa Yokemura (San Mateo Nippon Gakuyen: "Human Weakness"), and the second runner-up was Mr. Kai David Steiner (San Mateo Nippon Gakuyen: "My Father and Cat"). The winners from each category of the Middle and High School Division received a special prize from CAPCOM USA, Inc., one of the contest sponsors.

The winner of the College Student and Adult Division was Ms. Tangut Degfay (Middlebury Institute of International Studies: "Japan Through the Eyes and the Heart"), the first runner-up was Mr. Roger Luo (University of California, Berkeley: "What Japan Has Given Me"), and the second runner-up was Ms. Ellen Zhong (Middlebury Institute of International Studies: "Why I Could Not Say 'I like Japan'"). The first-place winner for the College and Adult Division of this year's contest received a round trip flight ticket to Japan from United Airlines, another contest sponsor.



We would like to extend our sincere congratulations to all the winners and commend all the contestants on their hard work. We also appreciate the monetary and in-kind support given to the contest by the following organizations and firms: United Airlines, New People Inc., Capcom USA Inc., The Japan Foundation - Los Angeles, The Japanese Chamber of Commerce of Northern California (JCCNC), California Association of Japanese Language Teachers (CAJLT), Kinokuniya Bookstores of America - San Francisco, Foreign Language Association of Northern California (FLANC), PASONA N.A. Inc., Nippon Express Travel USA Inc., Kikkoman Sales USA, Golden Gate Institute, Ong & Kimura Inc., California Bank and Trust, YamaSho LLC, Benkyodo
(Masahiko Minami, Chair of the 44th Annual Japanese Speech Contest)



大学・成人の部 1位 タングト・デグフェイさん
Ms. Tangut Degfay
the winner of the College Student and Adult Division
(Photos courtesy of Jeremy Santiago)

北加日米会総会ご案内

北加日米会年次総会を下記の日程で開催します。会員の皆様、ぜひご出席下さるようお願い申し上げます。

日時：2016年12月20日(水)午後6時30分

場所：北加日米会オフィス

議題：(1) 昨年度総会議事録承認

(2) 会計報告承認

(3) 2017年度行事報告

(4) 2018年度行事計画

なお、出席できない方は、既に発送されている案内状についている委任状を、12月9日必着で北加日米会事務局に郵送してください。

JAANC Annual Meeting Notice

The JAANC Annual General Meeting will be held following:

Date: December 20 Wednesday from 6:30PM

Venue: Hokka Nichibei Kai
1759 Sutter Street, San Francisco
CA 94115-3217

Agenda: Approval of Minutes of meeting 2016
Treasurer's Report of 2017
2017 Annual Report
2018 Planning Report

If you are unable to attend, please send your power of attorney to Hokka Nichibei Kai office no later than Dec. 9.

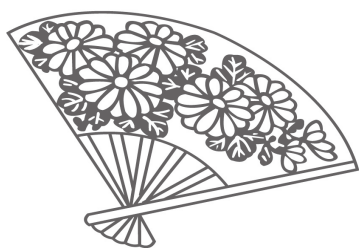


文化の殿堂

非常に残念なニュースですが、委員会の皆様の時間的なご都合によりまして今年度は見送られることになりました。今年は2名の推薦者がおられたのですが、来年度に持ち越されることとなりました。皆様のご理解をお願いします。

新年会のお知らせ

2018年1月21日日曜日夜6時より山昌レストランにて、新年会を行います。このたびは文化の殿堂の授賞式を行わない為、会員の皆様だけの新年会となります。ビンゴやカラオケも予定しております。会員及びご家族皆さまの御参加をお待ち致しております。参加費は1人50ドルです。尚、食事は、お肉と魚のチョイスがあります。お申込みの際申し込み用紙にご記入下さい。



北加日米会ティンソーサエティー主催の 師走茶会

12月17日(日)

12時席、1時席、2時席、3時席

場所：北加日米会 “観桑庵”

担当：裏千家：お茶席

表千家：お蕎麦席

ドナー：\$ 15



新入会員

おがわ さとえ

寄附

上田孝子 \$40

北加日米会会報は、年4回(3月1日、6月1日、9月1日、12月1日)発行の予定です。
お知らせやグループの活動報告等の記事も募集しております。どうぞ下記までお寄せ下さい。

北加日米会 Hokka Nichibei Kai
1759 Sutter Street, San Francisco, CA 94115
Tel: (415) 921-1782
Email: hokka.nichibeikai@yahoo.com
<http://www.nichibeikai.org>